



学校報

笑顔と挑戦

井川義務教育学校
第 4 号

令和 6 年 6 月 2 8 日

校訓 青雲大志

ともに学び、挑み続ける児童生徒の育成

挑戦の足跡 ～男鹿潟上南秋中学校総合体育大会～

市郡中総体が、6月15日（土）、16日（日）の2日間にわたって開催されました。13日の激励会では、勝っても負けてもどうでもよいと思って大会に臨むのと、勝ちたいという強い気持ちをもって練習を重ね、当日ベストを尽くすために体調を整えて試合に臨むのでは、結果が同じでも、成長が全く違うということ。相手も同じように、全力を尽くして悔いを残したくない気持ちで試合に臨むのだから、自分が勝つこともあるし、相手が勝つこともある。勝っても負けても堂々とした態度でいてほしいことなどを伝えました。

今大会、幸いなことに、全ての部の試合を見て回ることができました。そこで、感じたのは、2か月ほど前の春の大会と比較して、子どもたちが精神的に成長しているということでした。技術的な成長があったからこそ、自信をもって試合に臨むことができた成果だとは思いますが、ここぞというところで踏みとどまる、勝利への強い気持ちを感じるような場面が何度もあり、見ていてうれしくなりました。

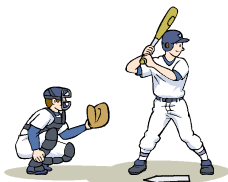
今後、県大会へ出場する選手も、来年度を目指す7・8年生も、そして、今大会で引退することになる9年生も、現状を踏まえた適切な目標を立てて、努力をすることで成長し続けてほしいと思います。「やれば 成長 できる」のです。試合に勝つことだけが目的ではありません。部活動を通して、人間として成長することがより大切です。

戦績

【野球】 第3位

1回戦

井川 2－6 八郎潟



【男子バスケットボール】 準優勝

リーグ戦 3勝1敗

井川・天王 46－67 八郎潟

井川・天王 86－54 五城目一

井川・天王 73－49 羽城

井川・天王 67－57 男鹿東



【女子バスケットボール】 優勝

全県大会出場

決勝リーグ 3勝0敗

井川・五城目一 67－44 男鹿東

井川・五城目一 73－61 天王

井川・五城目一 74－50 羽城

【女子バレーボール】 敗退

予選リーグ 1勝2敗

井川 0－2 男鹿南

井川 0－2 天王南

井川 2－1 羽城

交流戦（1セットのみ）

井川 0－1 大潟・五城目一



【女子卓球（団体）】 優勝

全県大会出場

予選リーグ 2勝1敗

井川 3－0 男鹿東

井川 3－0 八郎潟

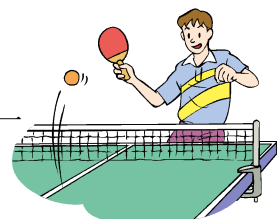
井川 1－3 五城目一

準決勝

井川 3－2 天王

決勝

井川 3－1 大潟



【男子卓球（個人）】

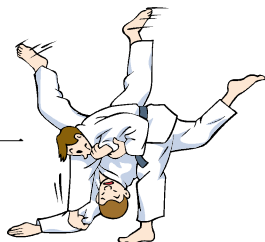
ベスト6 ※※※※（9年）**全県大会出場**
ベスト8 ※※※※（9年）

【女子卓球（個人）】

優勝 ※※※※（7年）**全県大会出場**
ベスト8 ※※※※（8年）**全県大会出場**
3回戦敗退 ※※※※（8年）
3回戦敗退 ※※※※（8年）
3回戦敗退 ※※※※（8年）
2回戦敗退 ※※※※（8年）
2回戦敗退 ※※※※（7年）

【男子柔道（団体）】 **第3位**

リーグ戦 1勝2敗
井川 1—4 天王
井川 3—2 羽城
井川 2—3 五城目一



【男子柔道（個人）】

優勝 90kg級 ※※※※（9年）**全県大会出場**
準優勝 81kg級 ※※※※（7年）**全県大会出場**
準優勝 73kg級 ※※※※（9年）**全県大会出場**
準優勝 55kg級 ※※※※（9年）**全県大会出場**
1回戦敗退 73kg級 ※※※※（8年）

秋田県中学校総合体育大会

7月7日（日）

柔道大会（個人戦） 県立武道館

7月13日（土）～14日（日）

バスケットボール大会

大館市タクミアリーナ

卓球大会 由利本荘市ナイスアリーナ



大会初日、炎天下の中、吹奏楽部の力強い演奏に合わせて総合文化部などの生徒が全力で野球部を応援してくれました。ありがとう！

ご来校ありがとうございました みんなの登校日

6月10日～13日、15日に実施した「みんなの登校日」に、たくさんのご家族や地域の方が来校し、子どもたちの様子を参観してくださいました。



期間中の来校者総数は119人でした。このあと、9月7日（土）に学校祭、9月21日（土）に祖父母参観日（前中期）、11月16日（土）に学習発表会を予定しています。それぞれの行事で、子どもたちが頑張っている姿をご覧いただけたと思います。たくさんのご家族の皆様、地域の皆様には足を運んでいただきたいと思いますので、どうぞ、近隣の方へお声がけをいただき、ご一緒においでくださるようお願いいたします。詳細は、改めてご案内いたします。

心のバリアフリー教室 （障害理解教育）

本校は今年度から、「豊かな心や社会性の育成」に向けて、共生社会を目指した障害理解教育を推進しています。

共生社会とは 障害がある、ないに関わらず、女の人も男の人、お年寄りも若い人も、全ての人がお互いの人権（私たちが幸福に暮らしていくための権利）や尊厳（その人の人格を尊いものと認めて敬うこと）を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことです。

6月24・26日に行われた「心のバリアフリー授業」はその一環として、天王みどり学園の先生と本校の先生が協働して、1・2年、3・4年、5・6年ごとに、子どもの発達の段階に合った内容で行われました。「障害」は障害者ではなく社会が作り出しているとも言われています。子どもと共に、私たち大人も学び直したい内容です。